

## 施策12 公共交通車両の脱炭素化とユニバーサルデザイン化

- バス事業者やタクシー事業者等における電気自動車・燃料電池車の普及を促進し、交通の脱炭素化を目指します。
- 通勤・通学時間帯以外の平日の昼間や休日の運行便などについて、利用状況に応じた車両のダウンサイジングを検討します。
- また、高齢者や障がい者、子ども連れの方など、全ての利用者がより円滑に利用できるような車両のユニバーサルデザイン化を推進します。

### ■ 出雲大社周辺でのグリーンスローモビリティ運行の社会実験の様子（令和3年（2021））



※グリーンスローモビリティとは  
時速20km未満で公道を走ることができる電動車を  
活用した小さな移動サービスのこと

### ■ ユニバーサルデザインのタクシー車両



資料：出雲一畑交通



資料：トヨタ自動車株式会社 ホームページ

※ユニバーサルデザインとは  
身体能力の違いや年齢、性別、国籍に関わらず、すべての  
人が利用しやすいようにつくられたデザインのこと

実施主体	出雲市、交通事業者	対応する SDGs	  
実施期間			
関連施策	施策13-2		

# 施策13 公共交通によるおもてなし

## 施策13-1 空港利用者の利便性向上

- 今後予定されている運航時間の延長等により空港利用者の増加が見込まれるため、二次交通の利便性の確保を検討します。

■ 空港連絡バス



実施主体	出雲市、交通事業者	対応する SDGs	 
実施期間			
関連施策	施策11		

## 施策13-2 観光客や帰省客などの利用も見据えた公共交通サービスの検討

- 観光客の利用が見込まれる出雲大社周辺の周遊手段を検討します。
- 観光利用の多いバス路線はそのサービスレベルを維持または向上するとともに(施策1-1)、地域内交通を活用し、観光客が周遊しやすい環境づくりを進めます。



実施主体	出雲市、交通事業者、観光協会等	対応する SDGs	 
実施期間			
関連施策	施策1-1, 施策3, 施策11, 施策12		

# 7. 施策の実施スケジュール

- 1. はじめに
- 2. 地域と公共交通の現状
- 3. 市民生活と公共交通
- 4. 問題点と取り組むべき課題
- 5. 公共交通の将来像
- 6. 将来像を実現するために実施する施策
- 7. 施策の実施スケジュール
- 8. 計画の管理とモニタリング

# 8. 計画の管理とモニタリング

## 8-1. 評価指標の設定

- 本計画の達成状況を評価するため、出雲市のめざす姿（基本目標）ごとに評価指標を設定します。

出雲市のめざす姿 （基本目標）	公共交通の使いやすいまち
評価指標①	公共交通の市民一人当たりの年間利用回数
指標の定義	【定義】対象路線の年間利用者数※の合計値を人口（3月時点）で割った値 ※従来のバス会計年度を適用 【対象】幹線：広域幹線（バス）、準幹線（バス） ※波根線を除く 支線：定路線、乗合タクシー その他：福祉バス、高齢者等外出支援事業、まめながタクシー
現状値	1.69回／人・年（令和3年度（2021））
目標値	2.37回／人・年以上（令和9年度（2027））
目標値の考え方	新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度と同じ水準まで戻す
データ取得方法	各交通事業者等から報告を受けて市が把握する（年間を通じて利用状況を把握）
評価の時期	全年度（10月まで）の情報をもとに毎年実施

評価指標②	JRの一日平均利用者数
指標の定義	【定義】市内の鉄道駅（JR）における一日平均利用者数の合計値
現状値	2,803人／日（令和3年度（2021））
目標値	3,840人／日（令和9年度（2027））
目標値の考え方	新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度と同じ水準まで戻す
データ取得方法	交通事業者から報告を受けて市が把握する（年間を通じて利用状況を把握）
評価の時期	全年度（10月まで）の情報をもとに毎年実施

評価指標③	一畑電車の年間輸送人員
指標の定義	【定義】市内の一畑電車の年間利用者数
現状値	110万人／年（令和3年度（2021））
目標値	150万人／年（令和7年度（2025））
目標値の考え方	一畑電車支援計画（※）の目標値と整合を図る
データ取得方法	交通事業者から報告を受けて市が把握する（年間を通じて利用状況を把握）
評価の時期	全年度（10月まで）の情報をもとに毎年実施

※島根県・松江市・出雲市で組織する「一畑電車沿線地域対策協議会」が令和3年2月に取りまとめた、一畑電車に対する支援計画（計画期間は令和3年から令和7年まで）

出雲市のめざす姿 (基本目標)	公共交通の使いやすいまち
評価指標④	公共交通機関(バス)の利用しやすさの市民満足度
指標の定義	【定義】公共交通機関(バス)の利用しやすさについて、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の全回答者に対する割合
現状値	17.1% (令和3年度(2021))
目標値	23.3% (令和9年度(2027))
目標値の考え方	「どちらかと言えば満足していない」と回答した70歳以上の高齢者の8割程度を「どちらかといえば満足している」に転換させることを目指す
データ取得方法	市民を対象としたアンケート調査を実施し市が把握する
評価の時期	計画期間の後半(令和8年度(2026)~令和9年度(2027))に調査を実施

出雲市のめざす姿 (基本目標)	車を運転しない人も生活しやすいまち
評価指標⑤	公共交通による人口カバー率
指標の定義	【定義】以下の対象路線の駅、バス停(フリー乗降区間)から500m圏域内に居住する人の総人口に占める割合(圏域内人口は最新の国勢調査データより抽出) 【対象】幹線:JR、一畑電車、広域幹線(バス)、準幹線(バス) 支線:定路線、乗合タクシー その他:福祉バス、まめながタクシー
現状値	75.1% (令和3年度(2021))
目標値	78.2% (令和9年度(2027))
目標値の考え方	4年間で各地域のカバー率の低い4地区に乗合タクシーを導入し、数値を向上させる
データ取得方法	市が調査・把握する
評価の時期	毎年実施

評価指標⑥	わかりやすい時刻表やマップの作成と多言語化の実施状況
指標の定義	【定義】施策5で定める「わかりやすい時刻表やマップの作成と多言語化」についての具体的な取組の実施状況(実施件数)
現状値	なし
目標値	3件以上 (令和9年度(2027))
目標値の考え方	市内総合時刻表、中心市街地形成エリアの共通時刻表、乗合タクシー導入におけるわかりやすいチラシ等を作成する
データ取得方法	市が調査・把握する
評価の時期	毎年実施

出雲市のめざす姿 (基本目標)	持続可能な公共交通サービスのあるまち
評価指標⑦	公共交通の公的資金の投入額
指標の定義	【定義】公共交通の維持に係る市の支出額(※)
現状値	257百万円/年 (令和3年度(2021))
目標値	257百万円/年 (令和9年度(2027))
目標値の考え方	路線延伸・ダイヤ調整等によって運行経費が増加するのに対し、利用促進等により運行収入の増加を図り、市の支出額を現状程度に抑える
データ取得方法	市が把握する
評価の時期	全年度(10月まで)の情報をもとに毎年実施

※波根線を除く

評価指標⑧	公的資金が投入されている公共交通事業の収支率
指標の定義	【定義】公的資金が投入されている公共交通事業について、全体の収支率(支出に対する収入の割合)(※)
現状値	29.2% (令和3年度(2021))
目標値	30.5% (令和9年度(2027))
目標値の考え方	路線延伸・ダイヤ調整等によって運行経費が増加するのに対し、利用促進等により運行収入の増加を図り、現状と同程度の収支率を維持する
データの取得方法	市が把握する
データ取得方法	全年度(10月まで)の情報をもとに毎年実施

※波根線を除く

出雲市のめざす姿 (基本目標)	新しい公共交通にチャレンジするまち
評価指標⑨	スマホひとつで利用できる公共交通システムの構築状況
指標の定義	【定義】施策11で定める標準的なバス情報フォーマットを整備したバス路線の数
現状値	4路線(大社線、日御碕線、須佐線、空港連絡バス) (令和4年度(2022))
目標値	10路線以上(令和9年度(2027))
目標値の考え方	観光利用が多く見込まれる路線を中心に、整備を行う
データ取得方法	市が調査・把握する
評価の時期	毎年実施

## 8-2. 計画の実施とモニタリング

- 本計画の実施状況や達成状況の評価はPDCAサイクルの考え方のもと、計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Act)を行います。
- 長期的な計画・実行が必要な施策、短期的な計画・実行が可能な施策それぞれで、施策の計画(Plan)と実施(Do)を行います。また、毎年度定期的に施策の実施状況や目標の達成状況について評価・検証(Check)を行い、この内容を踏まえて改善(Act)を行いながら、次期施策の計画・実施へとつなげていきます。
- なお、本計画の施策内容などは、社会環境の変化等も踏まえて、必要に応じて見直すことも検討します。
- 計画の最終年度(令和9年度(2027))には、施策の実施状況の目標の達成状況の最終評価を行い、次期計画の策定に向けた検討を行います。

### ■ 計画の管理・評価のスケジュール

	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	R9年度 (2027)
長期的な計画・実行 が必要な施策	施策の計画(Plan) →	実施(Do) →	施策の計画(Plan) → 改善(Act) ↑	実施(Do) →	
短期的な計画・実行 が可能な施策	施策の計画・実施 (Plan・Do) →	施策の計画・実施 (Plan・Do) → 改善(Act) ↑	施策の計画・実施 (Plan・Do) → 改善(Act) ↑	施策の計画・実施 (Plan・Do) → 改善(Act) ↑	
評価・改善	評価 (Check) →	評価 (Check) →	評価 (Check) →	評価 (Check) →	最終評価 次期計画の 検討 →